

平成28年度 第2回小牧市児童館運営委員会会議録

日時	平成29年1月27日 金曜日 10時～11時30分	
場所	市役所本庁舎 3階 301会議室	
参加者	運営委員	永井勝彦、丹羽三枝子、田中佳子、増田直美、山岸伊久美、沖本喜久江、古澤照美、山下美和
	事務局	小塚部長、舟橋次長、永井課長、松永主幹、 児童センター:清水センター長、味岡児童館:野地館長、篠岡児童館:富田館長、小牧児童館:波多野館長、小牧南児童館:渡辺館長、北里児童館:水野館長、西部児童館:芦田館長、大城児童館:坪井館長、丹羽係長、松浦
欠席者	運営委員	竹谷竹久、船橋由美、
傍聴人	1名	
司会	永井課長	
司会	<p>委員の皆様方には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。ただ今より、平成28年度第2回小牧市児童館運営委員会を開催させていただきます。</p> <p>はじめに本運営委員会委員の変更についてご報告させていただきます。来治英治委員、辰川みつゑ委員、宮内真由美委員が退任され、新たに、田中佳子委員、増田直美委員、山岸伊久美委員に本運営委員会委員をご承諾いただきました。田中委員、増田委員、山岸委員におかれましては、本日が初めてでございますので、田中委員より名簿順に自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>(田中委員 自己紹介) (増田委員 自己紹介) (山岸委員 自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>この会議は公開となっておりますが、ただいまのところ傍聴者は1名となっております。</p> <p>それでは、はじめに永井委員長よりごあいさつをいただきます。</p>	
永井委員長	<p>今回委員として初めて出席されている方もみえますので、児童館の現状を少しお話させていただきます。毎年10月に少年センターで行っています「少年の意識調査」によりますと、「こどもたちの地域に対する満足度」が5年連続9割を超えています。また、公民館・児童館などの「公共施設に対する満足度」については5年前は77%であったのが、今年度は82%でありました。この2点からみましても、児童館の地域に果たす役割は大きいものがあると感じました。新しい委員の皆さんもぜひ新しい視点で忌憚のない意見をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p>	
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、こども未来部長よりごあいさつ申し上げます。</p>	

こども未来部長	<p>皆様、こんにちは。ただいまご紹介いただきました部長の小塚でございます。本日はご多忙にもかかわらず、第2回小牧市児童館運営委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には本市の教育・福祉行政の推進に日頃より格別のご支援・ご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。</p> <p>本市では、市内8カ所の児童館が、児童の健全育成、子育て支援の拠点として地域に密着した様々な事業を展開しております。</p> <p>しかしながら、昨今の社会情勢を見ますと、いじめ、虐待、さらには児童に対する殺傷事件等、こどもを取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。こうした状況の中、児童館の果たす役割、及び期待は大きいものがあるのではないかと考えております。</p> <p>委員の皆様には、児童館における活動、求められる役割について忌憚のないご意見をいただければと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
司会	<p>それでは、早速、次第に従いまして報告事項に移らせていただきます。</p> <p>(1) 平成28年度児童館の現状報告について</p> <p>(2) 平成28年度児童館利用状況について</p> <p>を一括で報告させていただきます。最初に、児童館の現状報告から願ひします。</p>
児童センター長	<p>(資料1)</p> <p>児童センターでは3つの「わ」を大切にしています。</p> <p>一つ目は「子育て支援で広がる話」です。最近は核家族の家庭が増え、母親だけで育児をしている家庭が増えています。そうしたご家庭の親子を支援するため、親子で楽しめる講座、また父親の来館も増えていますので、父親向けの講座等用意し、保護者同士の繋がりができるよう働きかけています。</p> <p>二つ目は「子育て講座で高めあう我」です。子育て中の方を対象にした講座ですが、託児ボランティアの方に協力していただき、安心してまた集中して講座を受けることができます。受講者の方からはこどもと離れ集中して講座を受けることができる、リフレッシュできるという評価をいただいています。</p> <p>三つ目は「遊びを通してつながる和」です。季節が感じられたり、こどもたちが遊びたい・興味がある遊びを提供するなど、遊びを通してこどもたちがつながる支援をしています。</p> <p>児童センターが3つの「わ」をつなげる場となるよう、あたたかい児童館を目指しています。</p> <p>最後に28年度に行った取組みを2点紹介させていただきます。1点目は、「遊び王」の参加です。「遊び王」とは、全国の児童館・児童クラブと同じ遊びに挑戦し、順位を競い合うものです。日々順位が更新されていくのでこどもたちは順位に一喜一憂しています。2点目は、リクエスト当初箱の設置です。話題の本などを毎月2冊ずつ購入していましたが、こどもたちの「生の声」を聞くため、本のリクエスト当初箱を設置しました。いずれも、こどもの主体性を大切に取組んだ事例です。</p>
味岡児童館長	<p>味岡児童館は5つの理念で運営しています。今年度は特に「地域の輪、友だちの輪を広げよう」ということで活動しました。</p> <p>「地域ぐるみで育ち合う児童館」ということで年3回地域運営協議会を開催し、地域の方々のご意見をいただき、地域の方々やサポーターの方々と一緒に活動しました。今年度は大学生とも連携した活動、地域の読み聞かせグループ、食育に関するグループとも連携して活動を行いました。</p> <p>「多世代で育ち合う子育て支援」としては、低年齢から参加できる講座をたくさん用意し、子育て支援室の環境を整備したことにより、市外からの来館</p>

者も増えました。

「中高生の集い使える児童館」としては、職員と中高生との距離が縮まるよう音楽室ではギターを貸し出しなどを行いました。高校生が夜遅くまで学習室で勉強していますが、絵馬を来館者や地域の方に記入していただき、館内に飾りました。館全体で、地域全体で、がんばる中高生を応援しています。

「多文化共生できる児童館」では、毎週ポルトガル語教室を開いています。日本語は話すことができるが、母語が話すことができない子ども、また興味をもって参加する日本人のこどもの参加もあります。

「社会教育を担う児童館」としては、今年度は、味岡児童館の特色であるかまどを使った講座、食育「バームクーヘン作り」など体験活動を実施しました。小牧ライオンズクラブさんから玄米の寄附をいただきましたので、今後活用に向けて検討していきたいです。

来館者が笑顔で帰っていただけるような児童館運営を心がけていきたいと思えます。

篠岡児童館長

篠岡児童館も「地域ぐるみで育ち合う児童館」「多世代で育ち合う子育て支援」「中高生の集い使える児童館」「多文化共生できる児童館」「社会教育を担う児童館」の5つの理念で運営しています。また「児童館で遊ぼう・楽しもう」「地域と共に育ち合う児童館」を目標に活動しています。

篠岡児童館の特色として、地域との連携・つながりが挙げられます。地域運営協議会を中心に、小中学校、地域と連携して夏まつり・もちつきなどの行事を行っています。

昨年4月から篠岡小学校の全児童へ館だよりの配布をしたところ、篠岡小学校の児童の利用について、4月は全小学校のうち4割ほどの利用でありましたが、1月は6割へと増え、全体としても小学生の利用が増えてきました。また、中学校との連携では、篠岡中学校を中心として、篠岡中学校吹奏楽部のニューイヤークンサート、ジュニア奉仕団の活動など学校とのつながりを大切にしながら行事を行っています。

地域とのつながりでは、区長、おやじの会など様々な方々と夏まつり、コンサートなどイベントの際ご協力いただいています。

「多世代で育ち合う子育て支援」として、子育て支援室の支援員を2名配置していますが、今年度は昨年と比べて相談シートの枚数が非常に多くなっています。支援員の意識も変わってきているのを感じます。

より一層地域に根ざした児童館になってきているのではないかと思います。

小牧児童館長

小牧児童館は「あそびを通して仲間の大切さを知る」「友だちと輪を広げ楽しく遊ぶ」「楽しく過ごし、ホッとできる居場所づくり」を目標に運営しています。

「子育て支援室の充実」では、いつでも子育てママたちを迎えられるよう、温かい雰囲気作りを心がけ、情報交換だけでなく、おもちゃの充実、ゆったりとくつろげる居場所作りの提供、またママたちにも発散してもらえるような支援室作りをしています。

「クラブ・広場・子育て講座の充実」では、年齢に応じた親子イングリッシュ、運動あそびなどの活動も盛んです。

「季節のイベント行事の工夫」では、季節のイベント、夜のお化け屋敷が好評です。単館ならではの特色を生かしたイベントを実施しています。

「地域との連携」では、保育園のハロウィンのイベントへ出向いたり、消防訓練では保育園にも声をかけ訓練に参加していただいています。また、保健センターと連携し、育児相談には多くの方がおみえになりました。3地区合同消防訓練も4年目を迎え定着しつつあります。

昨年より地域交流会を開催し、区長、学校等関係者の方々と児童館でのこど

もの様子をお話しするなど、さらに連携を深めています。

小牧南児童館長

小牧南児童館は、「地域の人との交流を楽しむ、心温まる児童館」を目指しています。

一つ目として、伝統を大切にしながら異年齢のこどもがうまく関わりをもって遊べる児童館を目指しています。先日高校生の子が小学生のこどもに遊び方を教えてあげている場面がありました。心があたたまる出来事でした。

二つ目は「クラブや広場の充実」です。子育て支援の充実をということで、来年度から子育て支援室職員を2名へ増員予定であります。今のお母さんは、「こどもとどう接したらよいか」「こどもとどう遊べばよいか」悩んでいるお母さんが多いように感じられます。クラブや広場での遊びを工夫し、家の中でもやってもらえるような遊びも取り入れながら行っています。

三つ目は「地域との連携」ということで、職場体験として中学生に児童館の仕事を手伝ってもらいました。普段は来館者として来館しているこどもたちに、日々の仕事をみてもらい、何か感じていただけたのではないかと思います。運営協議会を中心としてイベントなどを通じて地域の方々と交流し、地域の伝統・つながりを大切にしていきたいと思ひます。

北里児童館長

北里児童館は「あそびを通して仲間作りを。地域との繋がりを大切に」を目標に運営しています。

最近のこどもたちをみますと、ゲームを通してつながるこども、遊び方がわからないこどもが多いように感じましたので、昔の遊び、簡単でわかりやすいアナログな遊びを提供したところ、保護者にも好評でした。

子育て支援室には専門の支援員が研修を生かして、安心していただけるような子育て支援をしています。北里地区の特色として三世代同居の方も多く、祖父母と孫での来館も多いです。祖父母、最近では外国籍の方など来館者の状況にあわせて対応し、こどもだけでなく、母親も見守っていききたいと思ひます。

平成28年度人気でありました乳児の親子英語リトミックは、平成29年度は回数を増やす予定です。

地域連携では、学校行事に児童館職員が参加しました。地域との関わりが来館に繋がりが良い関係ができています。また、学校で児童館職員と出会うということが子どもたちにとって面白かったようです。ジュニア奉仕団として、北里中学校の生徒さんが活動してくれました。

地域に協力をいただきながら、中高生の居場所としての児童館、また家族での来館も増えていますので親子で楽しめる児童館になっていけばよいと思ひます。

西部児童館長

西部児童館では「来た人が笑顔になれる児童館」を基本方針として運営をしています。

「子育て支援」としては、子育て親子の交流の場の提供を基に、日常的なフロアでの声かけ、見守りを意識して行っています。こどもたちが参加する、こどもたちの製作をメインとした館内装飾の充実を行いました。またスマートフォンの利用の制限について張り紙等で徹底し、よりこどもたちと向き合えるような環境が整ってきたと思ひます。

「こどもたちの遊び」については、西部らしさ、畑を利用した取組みを行い、畑で収穫したものをクラフトで利用するなど、非日常的な体験を提供しました。あわせて15名のこどもプランナーの育成に取り組んでいます。施設のボランティアとして、次世代リーダーとして活動を行いました。

「地域との連携」としてコミュニティセンター運営協議会と合同で夏まつりなどのイベントを年数回開催しています。リピーターの方に満足してもら

	<p>ことはもちろん、まだ児童館に来館したことのない方には来館してもらうきっかけとなるよう、工夫しています。</p> <p>今後もより一層地域に根ざした、居場所となれる児童館を目指して取り組んでいきたいと思っています。</p>
大城児童館長	<p>大城児童館は8年目の運営となりますが、「地域みんなで、楽しさのシェアリング」を掲げ、5つの理念で運営してまいりました。</p> <p>「地域ぐるみでの運営」では当初から地域運営協議会を設置し、児童館の現状を話し、運営内容や今後のことを協議しながら児童館運営を行っています。</p> <p>「多世代での子育て支援」については、祖父母、父親、育休中の母親など、いろいろな状況の方が来館しますし、年々子育て支援の需要は高まっており、今年も子育て支援室の職員の配置の充実、対応力の強化を行いました。講座では幼児対象の英語講座が始まり、地域の方から講師を紹介していただきましたが好評であります。</p> <p>「中高生の居場所」としては、ジュニア奉仕団、職業人体験の受け入れ、イベントなどでも連携を行っています。</p> <p>「多文化共生」では、毎週水曜日夜に行うポルトガル語講座、国際ショナル遊びを行っています。</p> <p>「社会教育の展開」では中学校、地域の方を招いたクリスマスコンサート、地域の田んぼを利用したアートイベントへの参加を行いました。</p> <p>大城児童館は朝9時30分から夜9時まで運営していますので、時間・曜日も含めて地域でいろいろな形で利用してもらえるような児童館を目指していきたいと思っています。</p>
児童センター長	<p>(資料2)</p> <p>続いて平成28年度の児童館利用状況について報告します。</p> <p>利用者数は、全体的に昨年度より増えています。特に子育て親子向け講座・育児相談の参加者が増えたため、子育て支援室の利用が増えていることがその要因の一つではないかと思えます。また、児童クラブの受け入れが6年生まで引き上げられたにもかかわらず、小学生の利用が多いことはうれしいことです。今後も小学生が来てくれる児童館でありたいと思っています。</p>
司会	<p>ただ今、(1)平成28年度児童館現状報告について、(2)平成28年度児童館利用状況について、説明がありました。これについて、ご意見、ご質問はありませんか？</p>
丹羽副委員長	<p>味岡児童館のかまどの利用について、ライオンズクラブから玄米の寄附があったとお話がありましたが、それをどう活用していく予定か教えてください。</p>
味岡児童館長	<p>かまどでおにぎりを作ったらどうかなどいろいろな案はありますが、味岡児童館でどう活用するかまだ具体的には決まっていません。玄米だけでなく、同時に白米10Kgの寄附もありましたので、がんばる中高生応援企画として、先日サポーターと共に白米でおにぎりを作り、学習室で勉強している中高生に夜食として提供しました。いろいろ検討していますが、150Kg寄附していただいたので、味岡児童館だけで消費するのは難しいかと思えますので、市内の他の児童館さんのイベントにも活用してもらう予定です。</p>
永井委員長	<p>顔の見える交流、イベント、企画もたくさんあり、職員の方は苦勞もされているかと思いますが、同時にありがたいなと感謝していますが、3点質問させていただきます。</p> <p>1点目は、西部児童館からスマートフォンの利用について話がありましたが、</p>

	<p>各館の考えについて、2点目は児童センターでリクエスト箱の設置について話がありましたが、各館の状況について教えてください。3点目は、小学校をまわっていると小学校の低学年の落ち着いて座ってられない等の問題行動が多く感じられます。小牧市内だけでなく、他県でも同じような状況であります。このような状況の中、児童館の果たす子育て支援の役割は大きいと思いますが、何か感じることはありますか。</p>
児童センター長	<p>スマートフォンの使用については、基本的に禁止していますが、保護者からの緊急の連絡が入る場合もあり、一概に線を引くことはできないと思います。昨日も母親が学校からの緊急メールで不審者情報が入り、こどもあてに気をつけて帰宅するようにメールを送った、ということがありました。こういったケースもありますので、ケースバイケースで対応しています。</p> <p>リクエスト箱の設置については、こどもたちと一緒に運営をしていきたい、こどもたちが児童館の主催者として運営を行う、その第一歩としての取り組みです。こちらから決めるのではなく、こどもたちの自由な発想、意見を取り入れ、こどもたちがやりたいこと、やりたいあそびを自分たちで考えて行う、こどもが主体の児童館になればいいなと思っています。</p>
味岡児童館長	<p>味岡児童館も館内での使用は控えてもらい、必要なときだけ場所を選んで使用してもらうこととしています。</p> <p>特にリクエスト箱の設置はしていませんが、こどもたちと一緒に考える児童館にしていきたい、そういう機会をもっていきたいと思っています。</p>
篠岡児童館長	<p>篠岡児童館も使用は禁止です。外で使用してもらっています。ただし、学習室でスマートフォンを辞書代わりに利用している中高生もいますので、ゲームなのか、学習で利用しているのか見守ることにしています。</p> <p>アンケートの結果を地域運営協議会で検討しています。またすぐに応えられる要望にはすぐに応えることとしています。</p>
小牧児童館長	<p>基本的に禁止、外で使用してもらうことにしています。</p> <p>リクエストには応えることができるものは応えることにしています。</p>
小牧南児童館長	<p>基本的に禁止、コミュニティセンターで使用してもらうことにしています。</p> <p>リクエストについては、職員間で話し合い、共有し、できる限り提供するようにしています。</p>
北里児童館長	<p>基本的に禁止、外で使用してもらうことにしています。</p> <p>リクエストについては、普段の会話などからニーズを探るよう努力しています。</p>
西部児童館長	<p>基本的に禁止ですが、ケースバイケースです。どうしても使用したい場合は、職員へ声をかけてもらうことになっています。</p> <p>リクエストについては、アンケート以外に日常の会話を大切に、利用者の声を聞くようにしています。</p>
大城児童館長	<p>スマートフォンのゲームの利用は禁止などの使用制限はありますが、基本的にそれぞれの意識に任せています。</p> <p>モニタリングやアンケートでいただいた意見を基に安全面に対する声には即時対応しています。その他物理的な面などはよく検討することとしています。</p>
児童センター長	<p>3点目の質問についてですが、やはり子育て支援センターに来所する親子を</p>

みていると、視線があわない、トイレトレーニングができていない、制御がきかない子など、気になるこども、発達が遅いこどもが年々増えています。また、こどもをどう扱っていいかわからない、こどもにどう言い聞かせていいかわからない母親も多いと感じます。そのような中で、研修や臨床心理士の先生の話からも、やはり基本的な生活習慣が大切であると思います。しかし、大人と同じように遅い時間に寝て遅く起きるなど、きちんとできていない家庭も多く、それが自立を遅らせる要因になっているのではないかと思います。

松浦

(資料3)

10ページ、資料3をご覧ください。

児童館利用者アンケートについて、報告をさせていただきます。

指定管理者制度を導入しています児童館においては、年2回のモニタリングを義務付けておりますが、全館共通様式を使用したアンケートによるモニタリングを年1回実施することで、各館利用者の満足度を比較することができ、児童館運営の質の向上に努めることを目的に実施しております。

アンケートは、児童館を利用する児童及び保護者を対象として、小学生、中学生以上、保護者の区分に分けて、平成28年10月24日から11月23日までの期間で、市内全8館で実施いたしました。

小学生を対象にした集計結果につきましては、資料の11ページ、中学生以上は12ページ、保護者対象は13、14ページに資料としてお付けいたしました。

総評といたしましては、11ページの小学生アンケートでは昨年と比べて大きく変わらず、質問1「児童館は楽しいですか」、質問4「児童館の先生は遊び方を教えてくださいか」において多少減少がありましたが、それ以外の質問項目は昨年度を上回り、質問1では9割以上のお子さんから児童館は楽しいという回答をいただきました。

12ページの中学生以上のアンケートでは全ての質問において昨年度より良い結果となりました。

13ページの保護者用のアンケートでも概ね満足していただいておりますが、質問6の「児童館は衛生に配慮されていますか？」でいいえと回答した方の理由として、おもちゃの管理や床の拭き掃除などを心配する意見がありました。

14ページの、「児童館を利用して思うことを記入してください。」という質問に対しては、非常に多くの自由意見をいただきました。児童館に対する良い意見が多く、「あなたにとって児童館はどんな場所ですか？」と重なる意見が多いことや、アンケート結果の数字からも児童館に対する高い満足度がうかがえるため、「児童館を利用して思うこと」には、よい意見ではなく、苦情・要望等のみを載せています。

これらの意見を今後の児童館運営の参考にしていき、取り入れられるものは積極的に取り入れていきたいと考えています。

以上、簡単ではありますが、報告とさせていただきます。

司会

ただ今、児童館利用者アンケートについて説明がありましたが、これについて、ご意見、ご質問はありませんか？

(意見なし)

それでは、ご意見、ご質問もないようですので、次の議事に移らせていただきます。議事の進行は、永井委員長にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

永井委員長	<p>それでは議事に入ります。 (1) 平成29年度児童館活動方針・活動目標(案)について事務局の説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>(資料4) 児童センター及び児童館7館は、資料4のとおり「活動方針」「目指す子ども像」「活動目標」をもとに日々運営しています。地域の遊び場としての健全育成、子育て家庭の支援に努め、市民に親しまれる児童館を目指しています。平成29年度市子ども会連絡協議会との連携事業案として、こまキッズフェスタを開催予定です。こども政策課、児童館、小牧市子ども会連絡協議会、こどもの育成に関わる団体で毎年行っています。勤労センター全部が遊び場となり、大勢の子どもたち、親子連れで一日中賑わいます。多くのこどもたちに遊びに来てもらえるよう、全館で企画準備を取組んでいきます。</p>
永井委員長	<p>ただ今、平成29年度児童館活動方針・活動目標(案)について説明がありますが、ご意見、ご質問はありませんか？</p> <p>(意見なし)</p> <p>特に意見もないようですので、(1)平成29年度児童館活動方針・活動目標(案)について承認いただけますでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p> <p>承認いただけたということで原案のとおり承認します。次に、(2)平成29年度児童館クラブ活動・行事計画(案)について事務局説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>(資料5-1・5-2) 児童館クラブ活動は、共通の興味関心をもった幼児・児童が集まって楽しみながら充実した活動を行うことを目的としています。時間等少し変更した箇所もありますが、基本的に昨年度と大幅な変更はなく、各館の地域性・特性を生かして実施していきたいと考えています。 発達支援リトミックにつきましては、4年経過したため事業の見直しを行い、小学生の参加がないことから、平成29年度は幼児のみの参加としました。また、3館で行っていましたが、こどもの継続した成長がみられるということで、平成29年度からは児童センター1館で行うこととします。</p>
永井委員長	<p>ただ今、説明いただいた計画案について、ご意見、ご質問はありませんか。</p>
丹羽副委員長	<p>児童センターの事業で第三日曜日に行う「おとうさんとあそぼう」についてですが、昨年度までは「みんなであそぼう」であったかと思いますが、やはり父親の来館も増えているので「おとうさんとあそぼう」に特化されたのでしょうか。</p>
児童センター長	<p>やはり土日に父親の利用が増えたこともありますが、児童センターには男性保育士もおりますので、父親向けに何かをしたいということで企画しました。しかし、参加はお父さんだけでなく親子なら参加できます。</p>
沖本委員	<p>各館それぞれの特性を生かして運営してみえると思いますので、こどもたちは幸せだなと感じました。</p>

古澤委員	<p>小学校の母親代表をしておりますので、学校行事などで児童館の先生に相談させていただいたことがあります。先生方の豊富な知識等サポートしていただき感謝しております。年末にこどもが児童館を利用しましたが、先生もこどもを覚えていてくれて、親以外でも成長を喜んでくれる人がいるのはうれしいなと思いました。</p> <p>緊急メールについて、もし不審者情報などがあった場合児童館はどのような対応をされるのか、連携があるといいなと思いました。</p>
永井課長	<p>不審者情報の件ですが、教育委員会からこども政策課に情報が入り、児童館や児童クラブにも伝達する流れとなっています。しかし、昨日の不審者情報は、こども政策課から児童館へ連絡するよりも先に学校からの緊急メールが保護者へ入ったため、保護者がこどもへメールをし、そのこどもが児童館の先生へ話をし、児童館でも状況を把握したという状況でありました。タイミング的には学校より遅くなりましたが、昨日は児童館、児童クラブにも連絡は入れさせていただきました。</p>
山下委員	<p>児童館は、こどもを安心して行かせられる、遊ばせられる場所だと思います。こどもたちが行けば、大人、中高生のお兄さん、お姉さんもいて、友達もいて、みんなが安心して行ける児童館をお願いしたいと思います。</p>
永井委員長	<p>大城児童館で、昔児童館で遊んでいたこどもが今はスタッフとして戻ってきたというお話がありましたが、いいサイクルだなと思いました。</p> <p>では、ご意見、ご質問もないようですので計画案のとおり承認されたこととします。</p> <p>次に、(3)平成29年度児童館の子育て支援(案)について事務局より説明をお願いします。</p>
児童センター長	<p>(資料6)</p> <p>就園前の乳幼児とその保護者を対象に親子ふれあい遊びを提供したり、保護者の育児知識の獲得と情報共有ができるように行っています。</p> <p>母と子クラブ・ちびっこ広場・ベビーマッサージは各館共通の事業です。館独自で行っている事業もありますが、英語講座、リトミック、読み聞かせは概ねどの児童館でも行っています。歩く、走ることができるようになったお子さんにとってリトミックは大変有効であると思いますし、読み聞かせは、想像力、知的好奇心、集中力が養われるため、取り組んでいます。英語講座についても保護者の関心も高いため、対象年齢は多少異なりますが各館取り組んでいます。</p>
田中委員	<p>私自身のことになりますが、子育ては楽しく、赤ちゃんはかわいいと思って子育てしていましたが、社会との孤立感も感じていました。そんな時、母と子クラブへ参加し、友達もたくさんでき、知り合ったママさんたちと交流ができ、今でも付き合いがあります。職員の方は苦労されていると思いますが、その頃に比べて産後ヨガなど母親向けの講座も充実していますし、イベントも多く、地域のつながりも深く、ありがたいと感じました。</p> <p>今は児童委員として、児童委員の会議などで地域のお年寄りをどう支えていくか話題になりますが、児童館へ行くと多くのこども、中高生がいます。彼らの力も借りたいと思いました。</p>
増田委員	<p>自分が子育てをしている時と比べるといろいろ充実していると思います。子</p>

	<p>ども会もなくなり、母親同士のつながりも薄くなっていて、少し寂しく感じていますので、もっと児童館を利用していただき、こういった場を大事にしてほしいと思います。</p> <p>西部児童館へ向う際に、車がたくさん通る道路を通っていかなければならない地域が多いので、安全に来館できるルートがあればよいなと思いました。こういった立場をいただきましたので、もっと児童館をみせていただき、いろんな活動に使わせていただければいいなと思いました。</p>
山岸委員	<p>味岡児童館のサポーターとして活動していますが、このような日々の努力はみえていなかったもので、それをととても実感しました。その結果がアンケートによい結果としてあらわれているなと思いました。</p> <p>こどもが小さいときにはあまり児童館に通っていなかったのですが、このような立場になりましたので、私自身がこれから児童館へ通ってみたいなと思いました。</p>
永井委員長	<p>子育て支援は重要なことであると思いますし、こういった活動について感謝したいと思いますが、意識の高い運営委員の方々ですら、活動がなかなかみえてこないという部分がありますので、市ホームページなどでも積極的に情報発信してほしいと思います。</p> <p>では、ご意見、ご質問もないようですので（3）児童館の子育て支援（案）については計画案のとおり承認されたこととします。</p>
司会	<p>委員の皆様、速やかな議事の進行にご協力ありがとうございました。</p> <p>また、小牧南児童館、大城児童館について、平成29年3月31日をもって指定管理委託が完了するのに伴い、今年度、児童館指定管理者選定委員会で指定管理者を選定しました。</p> <p>その結果、平成29年4月1日から小牧南児童館は小学館集英社プロダクション・ダイケングループに、大城児童館は特定非営利活動団体10人村に引き続き指定管理委託することとなりましたのでご報告させていただきます。</p> <p>その他全体を通してご質問等はございませんか？ 特にご質問等もないようですので、以上で本日の議題は全て終了させていただきます。</p> <p>これをもちまして、平成28年度第2回小牧市児童館運営委員会を閉じさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>